

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 5 | 1 | 社会教育総務費 | 340    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 社会教育一般   |
| 事業目的     | 社会教育活動の推進に資する事業及び社会教育団体の育成のための補助事業を行う。   |
| 事業内容     | <p>●全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が主体となり社会教育活動を積極的に展開してもらうため、社会教育団体の育成のための補助事業や社会教育事業推進のための支援を行う。</li> </ul> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育審議会等の開催</li> <li>中学校への吹奏楽部活動指導員派遣事業の実施</li> <li>市民展の開催</li> <li>社会教育団体及び文化事業への補助</li> <li>文化芸術活動全国大会等出場者への賞賜金の支給</li> <li>するすみふれあい広場の管理運営 など</li> </ul> <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育委員報酬 295,200円</li> <li>中学校吹奏楽部活動指導者謝礼 1,757,000円</li> <li>市民展開催委託料 1,249,000円</li> <li>社会教育団体補助（5団体） 1,566,411円</li> <li>文化の薫り高いまちづくり事業補助金 100,000円</li> <li>文化芸術活動全国大会等出場者奨励金 120,000円</li> <li>するすみふれあい広場管理委託料 924,000円</li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 文化の薫り高い補助金について、令和3年度から文芸作品等の刊行物の出版や文化記念碑の設置や修繕等の文化伝承についても補助対象となるように、支援メニューを拡充した。犬山市文化芸術活動全国大会等出場者奨励費支給を今年度も継続して行い、文化芸術分野における全国大会等出場者12名に対し賞賜金の支給を行い、市民の文化芸術水準の向上を図った。  |

II : 個別事業内訳

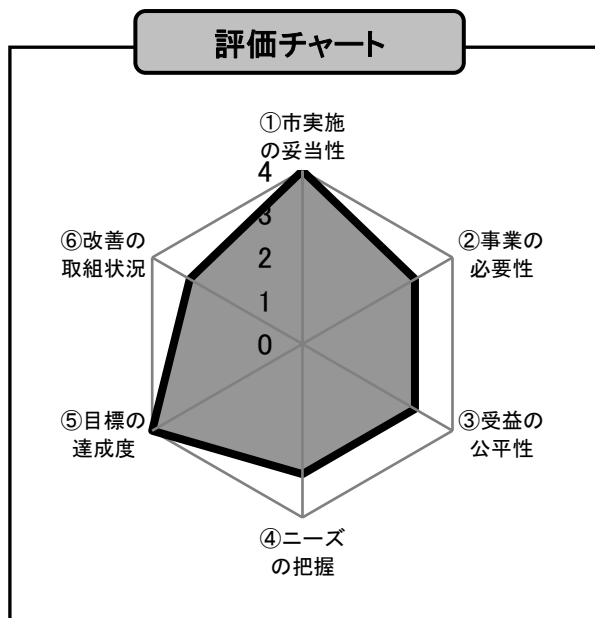
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名          | 決算額   | 財源内訳 |       | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|--------------|-------|------|-------|---------|----------------|--------------|------------|
|              |       | 特定財源 | 一般財源  |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 社会教育総務事務     | 115   | 0    | 115   | 100%    | 4              | 4            | 4          |
| 社会教育委員       | 315   | 0    | 315   | 100%    | 4              | 4            | 2          |
| 文化振興         | 3,463 | 614  | 2,849 | 82%     | 4              | 4            | 4          |
| 社会教育団体補助     | 1,567 | 0    | 1,567 | 100%    | 3              | 3            | 2          |
| するすみふれあい広場管理 | 1,489 | 307  | 1,182 | 79%     | 2              | 2            | 2          |
| -            | -     | -    | -     | -       | -              | -            | -          |
| -            | -     | -    | -     | -       | -              | -            | -          |
| 合計           | 6,949 | 921  | 6,028 | 87%     | 3              | 3            | 2          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算  | R3決算  | R4予算  |
|---------|-------|-------|-------|-------|
|         |       | 7,151 | 6,949 | 8,208 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0     | 614   | 0     |
|         | 地方債   | 0     | 0     | 0     |
|         | その他   | 311   | 307   | 310   |
|         | 一般財源  | 6,840 | 6,028 | 7,898 |
| 一般財源の割合 |       | 96%   | 87%   | 96%   |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 社会教育委員については、社会教育法第15条、犬山市社会教育委員設置条例第1条において設置することとしている。  |
| ②事業の必要性  | 3  | 犬山市立中学校吹奏楽部部活動指導員派遣事業については、教員の多忙化や指導者不足の解消のため今後さらに必要性が高まっていく事業である。社会教育団体への補助については、ガイドラインに沿った交付を行い、非常時においては縮小もやむを得ない事業である。 |
| ③受益の公平性  | 3  | 市民で構成される社会教育団体への補助等は少数の市民を対象とする事業である。   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 犬山市立中学校吹奏楽部部活動指導員派遣事業については、吹奏楽部顧問への聞き取りを実施し、意見を反映している。  |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 社会教育団体（7団体）への補助であるが、1団体が団員の減少により活動困難とし、補助金の申請を行わなかった。また、1団体がコロナによる活動縮小により、補助金の返還を行った。                                     |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 各事業が適正に実施されるよう、今後も検証を続けていく。   |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 文化の薫り高い補助金事業について、対象事業の幅を広げるため支援メニューを拡充した。<br>教育委員会に必置義務のある社会教育主事の資格取得者を確保するため、職員が研修会に参加した。              |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 文化の薫り高い補助金事業について、引き続き新しい支援メニューの周知を図っていく。<br>教育委員会に必置義務のある社会教育主事の資格取得者を確保するため、令和3年度に引き続き職員の研修会参加を予定している。 |
| 今後見直しを検討する事項       | 市民が主体となって実施する生涯学習事業の支援の在り方について検討していく。   |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題   | 対応策・今後の方向性                    |
|--|-------------------------------|
| 社会教育団体への補助について、補助金ガイドラインに沿った支援を継続して行っていく必要がある。 | 社会教育団体への支援の在り方について継続して検討していく。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 5 | 1 | 社会教育総務費 | 340    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 生涯学習   |
| 事業目的     | 市民が幅広い教養や知識を身につけることを目的に、生涯学習機会の提供、生涯学習活動の支援を行う。  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズに合った魅力ある生涯学習事業を展開するとともに、生涯学習情報の提供を行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民総合大学の開催</li> <li>・子ども大学の開催</li> <li>・ロボット塾の開催</li> <li>・生涯学習出前講座の実施</li> <li>・市民講師登録制度の活用</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民総合大学講師謝礼 1,063,010円</li> <li>・市民総合大学開催委託料 1,848,180円</li> <li>・子ども大学開催委託料 6,205,163円</li> <li>（「土曜日の教育支援体制等構築事業費県補助金」事業費の2/3補助）</li> <li>・ロボット塾開催委託料 423,500円</li> <li>（「土曜日の教育支援体制等構築事業費県補助金」事業費の2/3補助）</li> <li>・ICT相談業務委託料 1,220,300円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 新型コロナウイルスの感染症拡大防止の為、各講座で日程変更などがあったものの、「市民総合大学敬道館」及び「子ども大学」ではオンライン配信なども利用して全講座を実施した。「子ども大学」等各種生涯学習講座では、NPO団体や社会教育団体との連携により開催した。   |

II : 個別事業内訳

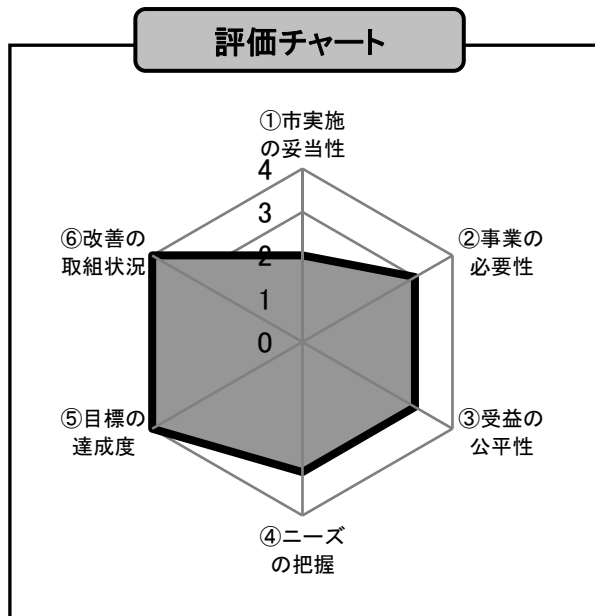
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名    | 決算額    | 財源内訳  |       | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|--------|--------|-------|-------|---------|----------------|--------------|------------|
|        |        | 特定財源  | 一般財源  |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 市民総合大学 | 3,898  | 1,432 | 2,466 | 63%     | 4              | 4            | 4          |
| 生涯学習講座 | 7,849  | 4,764 | 3,085 | 39%     | 4              | 4            | 4          |
| -      | -      | -     | -     | -       | -              | -            | -          |
| -      | -      | -     | -     | -       | -              | -            | -          |
| -      | -      | -     | -     | -       | -              | -            | -          |
| -      | -      | -     | -     | -       | -              | -            | -          |
| 合計     | 11,747 | 6,196 | 5,551 | 47%     | 4              | 4            | 4          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算  | R3決算   | R4予算   |
|---------|-------|-------|--------|--------|
|         |       | 6,056 | 11,747 | 13,907 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 2,989 | 3,746  | 4,214  |
|         | 地方債   | 0     | 0      | 0      |
|         | その他   | 662   | 2,450  | 3,105  |
|         | 一般財源  | 2,405 | 5,551  | 6,588  |
| 一般財源の割合 |       | 40%   | 47%    | 47%    |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 健康寿命が延伸する中、市民が生涯にわたって学び続けることができる生涯学習機会の提供は、必要である。事業によっては、市内NP0団体等地域との連携により実施したものもあったが、実施主体としては、民間の可能性を検討する。 |
| ②事業の必要性  | 3  | 「市民総合大学敬道館」は延べ762名が受講。新型コロナウイルス感染症拡大のため日程を変更しながらも全講座を実施。「子ども大学」は受講者数239名が参加をし、市民の生涯学習の場として寄与した。             |
| ③受益の公平性  | 3  | 少数の市民が対象となる事業ではあるが、受益者負担とし、相応の参加料を徴収している。   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 受講者に対し事業終了時にアンケートを実施しており、受講者のニーズ及び満足度を把握している。   |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、一部日程変更した事業もあったが、オンライン配信などの工夫を行いながら、当初計画していた事業を全て実施した。                                    |
| ⑥改善の取組状況 | 4  | 今後も利用者、時代のニーズに合った事業内容、適正な参加料について検討していく。   |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民総合大学敬道館入学式、子ども大学成果発表会ではオンライン配信で開催し、新たな実施形態を検討し行った。<br>市民総合大学では、市内の博物館と連携し、現地で学ぶ博物館講座を実施した。また、子ども大学では、メールでの申込みも受け付けることとし、申込方法の選択肢を広げた。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各種講座における予防のガイドラインの作成や、オンライン配信の継続実施を検討する。<br>ペイペイによる電子決済の導入。  |
| 今後見直しを検討する事項       | 市民のニーズを反映した生涯学習事業の内容について検証するとともに、受益者負担の考え方のもと、適正な参加料とともに、支払方法の簡便化について検証する。   |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性                                   |
|---|--|
| 「市民総合大学敬道館」では、高齢者の参加率は高いが、若年層の参加率が低い。幅広い世代が参加できるよう環境整備や講座内容の検討を継続していく必要がある。 | 市民のニーズや地域のニーズを的確に把握し、幅広い世代が参加できる生涯学習事業を展開する。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名     | 決算書(P) |
|----|---|---|--------|--------|
| 款  | 項 | 目 |        |        |
| 9  | 5 | 2 | 青少年育成費 | 346    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|               |  |               |          |              |         |               |          |
|---------------|--|---------------|----------|--------------|---------|---------------|----------|
| 施策事業名         | 青少年育成  |               |          |              |         |               |          |
| 事業目的          | 青少年の悩みごとに対する助言及び指導と、非行防止や環境浄化など青少年の健全育成を図る活動の拠点として、青少年センターを運営する。   |               |          |              |         |               |          |
| 事業内容          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成及び困難を抱える子ども若者を支援するため、青少年センターを適正に運営する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会の開催</li> <li>・青少年センターの運営</li> <li>・青少年健全育成団体への補助の実施</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・青少年問題協議会委員報酬</td> <td style="text-align: right;">266,400円</td> </tr> <tr> <td>・青少年センター講師謝礼</td> <td style="text-align: right;">90,000円</td> </tr> <tr> <td>・青少年団体補助(2事業)</td> <td style="text-align: right;">240,715円</td> </tr> </table> </li> </ul> | ・青少年問題協議会委員報酬 | 266,400円 | ・青少年センター講師謝礼 | 90,000円 | ・青少年団体補助(2事業) | 240,715円 |
| ・青少年問題協議会委員報酬 | 266,400円   |               |          |              |         |               |          |
| ・青少年センター講師謝礼  | 90,000円  |               |          |              |         |               |          |
| ・青少年団体補助(2事業) | 240,715円   |               |          |              |         |               |          |
| 事業の成果・効果      | <p>青少年問題協議会において青少年を取り巻く状況について分析し、課題解決に向けた提言をまとめた。また、同協議会の下に作られた青少年健全育成市民会議の機能を活用し、地域に根差した青少年健全育成活動を展開した。青少年健全育成講演会や困難を抱えた子ども若者支援のための研修会を開催するなど、青少年健全育成のための事業を積極的に推進した。上記講演会や研修会の講師料や青少年センター啓発用リーフレットについては、国の地域自殺対策緊急強化基金事業補助金(2/3補助)を充てることで、自主財源の抑制に務めた。</p> <p>二十歳の集い(成人式)が感染対策に気をつけて実施できるよう、参加予定者全員に注意喚起の文書を送付したり、会場が密にならないような対策を講じたりするなど、市として支援を行った。</p>  |               |          |              |         |               |          |

II : 個別事業内訳

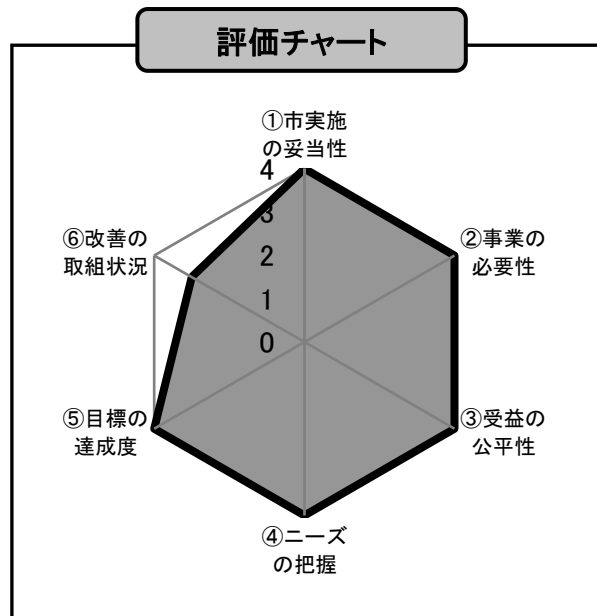
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名        | 決算額 | 財源内訳 |      | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|------------|-----|------|------|---------|----------------|--------------|------------|
|            |     | 特定財源 | 一般財源 |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 青少年問題協議会委員 | 302 | 20   | 282  | 93%     | 4              | 4            | 4          |
| 青少年センター運営  | 307 | 89   | 218  | 71%     | 4              | 3            | 4          |
| 青少年団体補助    | 241 | 0    | 241  | 100%    | 2              | 2            | 2          |
| -          | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| -          | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| -          | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| -          | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| 合計         | 850 | 109  | 741  | 87%     | 3              | 3            | 3          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算 | R3決算 | R4予算  |
|---------|-------|------|------|-------|
|         |       | 869  | 850  | 1,825 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 122  | 109  | 150   |
|         | 地方債   | 0    | 0    | 0     |
|         | その他   | 0    | 0    | 0     |
|         | 一般財源  | 747  | 741  | 1,675 |
| 一般財源の割合 |       | 86%  | 87%  | 92%   |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 地方青少年問題協議会法に基づき犬山市青少年問題協議会を設置。同協議会の委員を配置する青少年センターについては、いじめ、引きこもり等、困難を抱える子ども若者の支援を繋ぐ機関であり、市が実施主体となり運営する必要がある。 |
| ②事業の必要性  | 4  | いじめ、引きこもり等、困難を抱える子ども若者が増加している現状を受け、今後も継続的に青少年センターを核として支援していく必要がある。   |
| ③受益の公平性  | 4  | 対象者は少数の市民であるが、国の自殺対策補助金等、自主財源以外の資金の活用を図っている。   |
| ④ニーズの把握  | 4  | 青少年センターで実施する講演会、講座等では、受講者にアンケートを毎回実施し次年度の活動に生かしている。  |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 新型コロナウイルスの感染防止のため中止せざるを得ない事業があったが、感染症予防対策を行いながら、規模を縮小するなどして実施した。   |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 困難を抱える子ども若者を支援するための仕組みづくりについて、今後も検証していく。   |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 発達障がいの子どもの上手な支援の研修会の内容を充実させるため、前年度アンケート結果をもとに、テーマを設定し、研修会参加者への支援の充実を図った。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 青少年の健全育成を目指すために、講演会の内容を青少年の実情に合わせることで充実させる。                              |
| 今後見直しを検討する事項       | 「二十歳の集い実行委員会」と「二十歳の集い応援団」の自立を図るよう、支援体制を整えていく。                            |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                             | 対応策・今後の方向性   |
|--------------------------------|--|
| 多様な相談内容に対応できる相談員(人材)の確保が必要である。 | 今後も地域、学校と連携し、困難を抱える子ども若者の支援を行う必要があるため、適正に相談員を配置する。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 3 | 公民館費 | 346    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 南部公民館管理   |
| 事業目的     | 南部公民館を生涯学習の場として有効に活用することにより、市民の教育向上及び健康増進を図る。   |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、団体の自主的な生涯学習活動及びサークル活動の拠点施設として貸館業務を行った。</li> <li>・施設を将来にわたって使用していくため、必要な修繕・工事を行った。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館講座を前期5講座、後期6講座開催し、計120名の受講があった。</li> <li>・市民の文化芸術活動の発表の場を提供し、4団体による市民ギャラリーを実施した。</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 5,353,591円</li> <li>・総合設備管理業務一括委託料 8,817,600円</li> <li>・公民館管理業務委託料 1,631,758円</li> <li>・舞台関係統合管理業務委託料 7,104,680円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 自主的な生涯学習の場を市民に提供するために貸館業務を行った。<br>新型コロナウイルスの影響で規模は縮小となったが、市民の学びを支援するため、公民館講座を開催した。<br>春休みに小中学生を対象とした講座を開催したことで、あらたな利用者層を獲得することができた。   |

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

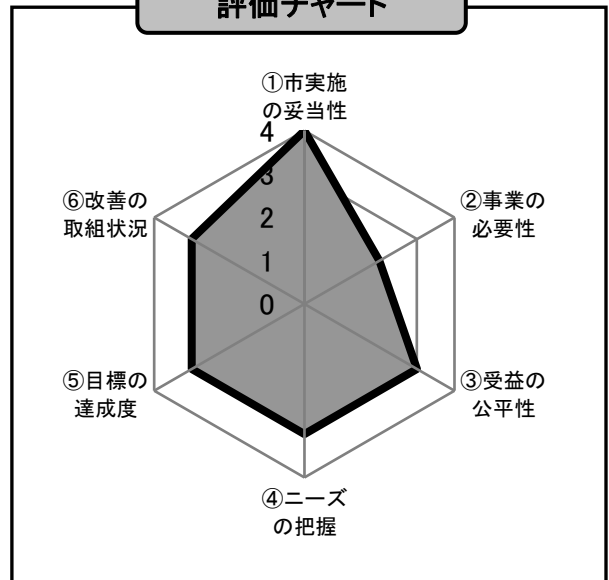
(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名      | 決算額    | 財源内訳  |        | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|----------|--------|-------|--------|---------|----------------|--------------|------------|
|          |        | 特定財源  | 一般財源   |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 公民館審議会委員 | 50     | 0     | 50     | 100%    | 3              | 2            | 2          |
| 南部公民館管理  | 25,197 | 3,338 | 21,859 | 87%     | 3              | 3            | 2          |
| 南部公民館講座  | 410    | 357   | 53     | 13%     | 4              | 4            | 4          |
| -        | -      | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -      | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -      | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -      | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| 合計       | 25,657 | 3,695 | 21,962 | 86%     | 3              | 3            | 2          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算   | R3決算   | R4予算   |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 31,690 | 25,657 | 28,249 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0      | 0      | 1,500  |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 4,053  | 3,695  | 3,665  |
|         | 一般財源  | 27,637 | 21,962 | 23,084 |
| 一般財源の割合 |       | 87%    | 86%    | 82%    |

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 社会教育法(昭和24年法律第207号)第20条、公民館の設置及び管理に関する条例により設置している施設である。   |
| ②事業の必要性  | 2  | 市民の日常生活に直接的な影響を与える事業ではないため、状況によっては一時停止が可能な事業である。  |
| ③受益の公平性  | 3  | 少数の市民しか対象となっていない事業であるが、受講料や使用料など相応の負担を求めて実施している事業である。   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 事業開催時に利用者アンケートを実施し、意見を集約している。   |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、予定していた公民館講座のうち一部を中止又は縮小することとなったが、感染対策を行ったうえで実施することができた。(通常前期10講座、後期10講座開講のところ、前期5講座、後期6講座の開講とした。) |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 施設の長寿命化のため、適切な修繕を行った。<br>新たな分野、新たな世代向けの講座を開講した。   |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | ・春休みに小中学生を対象とした講座を開催した。                     |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | ・障害者の学びの機会を提供するため、新たな講座を開講する。               |
| 今後見直しを検討する事項       | ・空調をはじめエレベーターや舞台機構の更新計画など、施設の長寿命化のための課題の整理。 |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                         | 対応策・今後の方向性         |
|----------------------------|--------------------|
| 施設・設備の老朽化が進行する中で効率的な修繕の実施。 | 優先順位をつけ、計画的な修繕を行う。 |



令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 3 | 公民館費 | 346    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 小規模公民館  |
| 事業目的     | 小規模公民館を生涯学習の場として有効に活用することにより、市民の教養向上、健康増進を図る。   |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習活動の場を市民に提供するため、小規模公民館(塔野地公民館、善師野公民館)を、適正に管理運営する。</li> <li>・老朽化が著しい犬山西公民館は、犬山市公共施設等総合管理計画に基づき機能を廃止し、跡地売却に向け施設を解体する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の貸館業務</li> <li>・施設の営繕修繕</li> <li>・施設管理に必要な各種委託</li> <li>・借地手続き</li> <li>・犬山西公民館の解体工事に向けた近隣との調整</li> <li>・土地境界確定のための測量調査</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館管理業務委託料(小規模分) 2,837,301円</li> <li>・光熱水費(小規模分) 849,096円</li> <li>・修繕料(小規模分) 528,660円</li> <li>・犬山西公民館測量調査委託料 668,864円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 小規模公民館について、自主的な生涯学習の場を市民に提供するため、貸館事業を行った。施設を良好に保つためにファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、修繕計画により、施設の適正な維持管理を行った。犬山西公民館解体のための測量を実施した。   |

II : 個別事業内訳

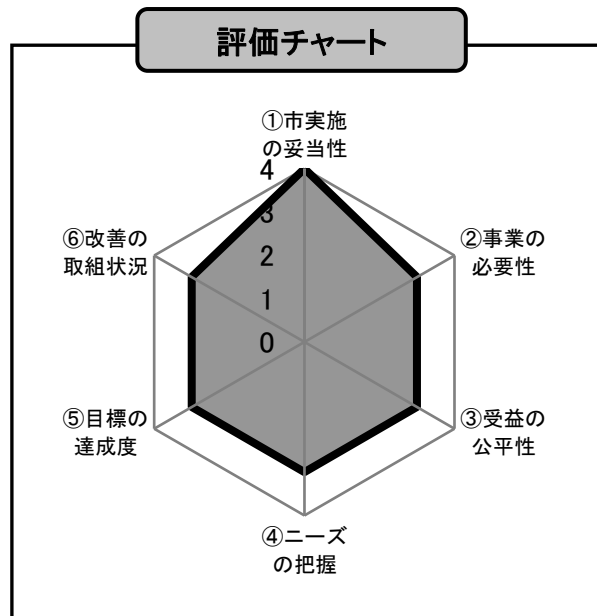
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名        | 決算額   | 財源内訳 |       | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|------------|-------|------|-------|---------|----------------|--------------|------------|
|            |       | 特定財源 | 一般財源  |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 小規模公民館施設管理 | 5,171 | 208  | 4,963 | 96%     | 3              | 3            | 3          |
| 犬山西公民館解体   | 823   | 0    | 823   | 100%    | 3              | 3            | 3          |
| -          | -     | -    | -     | -       | -              | -            | -          |
| -          | -     | -    | -     | -       | -              | -            | -          |
| -          | -     | -    | -     | -       | -              | -            | -          |
| -          | -     | -    | -     | -       | -              | -            | -          |
| 合計         | 5,994 | 208  | 5,786 | 97%     | 3              | 3            | 3          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算  | R3決算  | R4予算   |
|---------|-------|-------|-------|--------|
|         |       | 8,699 | 5,994 | 21,237 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0     | 0     | 0      |
|         | 地方債   | 0     | 0     | 0      |
|         | その他   | 992   | 208   | 285    |
|         | 一般財源  | 7,707 | 5,786 | 20,952 |
| 一般財源の割合 |       | 89%   | 97%   | 99%    |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 社会教育法（昭和24年法律第207号）第20条、公民館の設置及び管理に関する条例により設置している。   |
| ②事業の必要性  | 3  | 塔野地公民館、善師野公民館については、市と区の協定に基づき設置された施設である。犬山西公民館については老朽化が進んでいるため、令和2年度末で閉館した。令和4年度に解体する。                 |
| ③受益の公平性  | 3  | 条例に基づき使用料を徴収しているが、特定の団体による減免利用が多い。   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 犬山西公民館廃止のために市民説明会を2回実施（令和元年度）するとともに、定期的な利用者には他の公共施設を案内するなど、調整を図った。                                     |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 旧犬山西公民館解体工事については、近隣との調整が難航したため調停を行った。塔野地公民館については、非常階段の扉付替えや設備の管理がしやすいようフェンスに出入口を設置する等、計画的に修繕をすることができた。 |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | ファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、老朽化した施設のあり方を検証している。  |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 施設との連絡にFAXを使用することにより、迅速で正確な情報共有ができるようになった。<br>また、施設に放置された所有者不明物品について、整理を行った。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 令和3年度から繰越した旧犬山西公民館解体工事を行う。   |
| 今後見直しを検討する事項       | 旧犬山西公民館の解体に向けて、工事を行うとともに、近隣住民への周知、調整を図り、工事を安全に実施する。                          |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題   | 対応策・今後の方向性                  |
|--|-----------------------------|
| 老朽化した施設の安全性を確保しつつ、どのように維持管理していくか検討する必要がある。 | 今後も優先順位をつけて施設の修繕を適正に実施していく。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名       | 決算書(P) |
|----|---|---|----------|--------|
| 款  | 項 | 目 |          |        |
| 9  | 5 | 4 | 学習等供用施設費 | 348    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|            |   |            |             |       |            |      |            |
|------------|---|------------|-------------|-------|------------|------|------------|
| 施策事業名      | 学習等供用施設   |            |             |       |            |      |            |
| 事業目的       | 6つの学習等供用施設を生涯学習の場として有効に活用することにより、市民の教養向上、健康増進を図る。   |            |             |       |            |      |            |
| 事業内容       | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の場を市民に提供するため、市内6カ所の学習等供用施設(犬山南地区学習等供用施設、城東地区学習等供用施設、羽黒地区学習等供用施設、楽田地区学習等供用施設、上野地区学習等供用施設、丸山地区学習等供用施設)の施設管理を適正に行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の貸館業務</li> <li>・施設の営繕修繕</li> <li>・施設管理に必要な各種委託</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・施設管理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">16,036,735円</td> </tr> <tr> <td>・光熱水費</td> <td style="text-align: right;">5,329,321円</td> </tr> <tr> <td>・修繕料</td> <td style="text-align: right;">1,484,780円</td> </tr> </table> </li> </ul> | ・施設管理業務委託料 | 16,036,735円 | ・光熱水費 | 5,329,321円 | ・修繕料 | 1,484,780円 |
| ・施設管理業務委託料 | 16,036,735円   |            |             |       |            |      |            |
| ・光熱水費      | 5,329,321円  |            |             |       |            |      |            |
| ・修繕料       | 1,484,780円  |            |             |       |            |      |            |
| 事業の成果・効果   | 学習等供用施設において、適宜維持管理修繕をしながら、市民や近隣小中学校の自主的な生涯学習の場を提供した。<br>施設を良好に保つため、ファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、修繕計画により、施設の適正な維持管理を行った。  |            |             |       |            |      |            |

II : 個別事業内訳

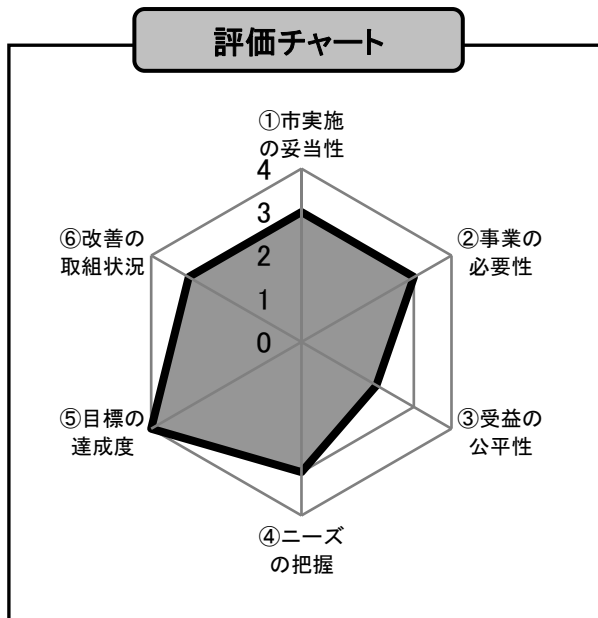
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名       | 決算額    | 財源内訳 |        | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|-----------|--------|------|--------|---------|----------------|--------------|------------|
|           |        | 特定財源 | 一般財源   |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 学習等供用施設管理 | 25,528 | 2    | 25,526 | 100%    | 4              | 2            | 3          |
| -         | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -         | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -         | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -         | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -         | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| 合計        | 25,528 | 2    | 25,526 | 100%    | 4              | 2            | 3          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算   | R3決算   | R4予算   |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 27,719 | 25,528 | 35,199 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 2      | 2      | 2      |
|         | 一般財源  | 27,717 | 25,526 | 35,197 |
| 一般財源の割合 |       | 100%   | 100%   | 100%   |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 3  | 学習等供用施設の設置及び管理に関する条例により設置している。                                       |
| ②事業の必要性  | 3  | 市民の教育向上、健康増進等、市民の自主的な学びを支援するために設置している施設ではあるが、非常時においては縮小もやむを得ない事業である。 |
| ③受益の公平性  | 2  | 特定の団体の定期的な利用が多いが、無料施設のため、受益者の負担がない。                                  |
| ④ニーズの把握  | 3  | 施設には管理人を配置し、常時利用者の声を聴く体制を整えている。                                      |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 上野学供雨漏り修繕、楽田・城東学供の戸車修繕等を行い、管理計画を達成することができた。                          |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | ファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、老朽化した施設のあり方を検証している。                          |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 施設との連絡にFAXを使用することにより、迅速で正確な情報共有ができるようになった。<br>また、施設に放置された所有者不明物品について、整理を行った。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 上野地区学習等供用施設の打診調査を行うなど、安全に利用できるための施設の適正な管理を行う。                                |
| 今後見直しを検討する事項       | 施設や設備の老朽化に伴い、施設の管理・運営について検証する。   |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                  | 対応策・今後の方向性                  |
|---------------------|-----------------------------|
| 老朽化した施設の安全性の確保と維持管理 | 今後も優先順位をつけて施設の修繕を適正に実施していく。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 5 | 図書館費 | 350    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 図書館本館  |
| 事業目的     | 地域の情報発信の拠点として、市民に親しまれる図書館となるため、図書館の適正な管理運営を行う。   |
| 事業内容     | <p>●全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の情報発信の拠点として、その地域の住民に役立つ課題解決の支援、行政情報の発信、地域づくりの拠点など、知識と情報の仲介者として、人と人をつなぐ潤いのあるオアシスになれるよう図書館サービスを展開</li> </ul> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協議会の開催</li> <li>図書館における講演会の実施</li> <li>図書館本館の適切な運営と維持管理</li> <li>図書運搬用の公用車1台の管理</li> <li>図書館業務システムの更新及び運用、維持管理</li> <li>図書購入による資料の充実</li> <li>子どもから大人まで市民の読書活動の推進</li> <li>営繕工事による適切な施設の維持管理</li> </ul> <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協議会委員報酬 50,400円</li> <li>図書館講演会等講師謝礼 325,000円</li> <li>図書館システム移行作業委託料 2,860,000円</li> <li>図書館情報システム使用料 2,859,780円</li> <li>図書購入費 14,211,164円</li> <li>点字ブロック設置工事 2,531,100円</li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | <p>新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で、適正に図書館の運営を行った。</p> <p>図書館システムを更新し、図書館サービスを安定的に供給した。</p> <p>子ども読書空間の愛称を決定し、子どもの読書活動の推進に適切な図書を配架、イベントを実施し円滑に運営した。</p> <p>子どもの読解力向上のため、学校連携司書の巡回による学校図書室との連携、学校図書館司書との連携セミナーを開催した。</p> <p>図書館サポーターによる、市民が図書館運営をサポートする体制を整備した。</p> <p>視覚障害者が安全に施設を利用できるよう、点字ブロックの設置工事を実施した。</p>   |

II : 個別事業内訳

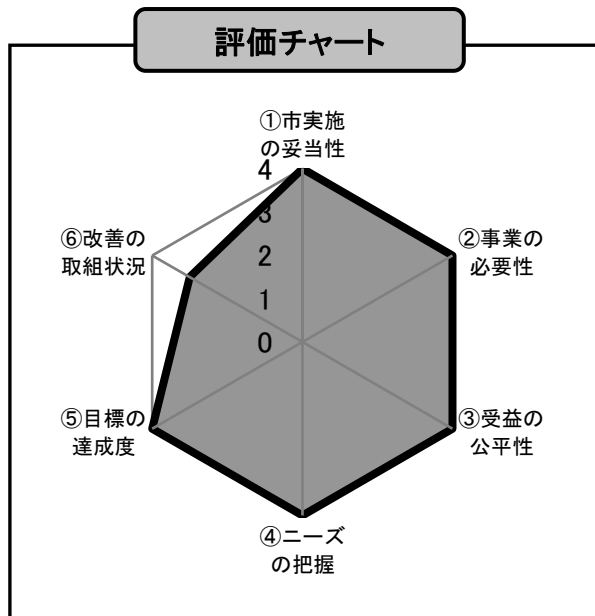
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名         | 決算額    | 財源内訳   |        | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|-------------|--------|--------|--------|---------|----------------|--------------|------------|
|             |        | 特定財源   | 一般財源   |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 図書館協議会委員    | 50     | 0      | 50     | 100%    | 4              | 4            | 4          |
| 図書館本館管理     | 32,087 | 135    | 31,952 | 100%    | 4              | 4            | 4          |
| 公用車管理(図書館費) | 30     | 0      | 30     | 100%    | 4              | 4            | 4          |
| 図書館システム運用管理 | 9,150  | 0      | 9,150  | 100%    | 4              | 4            | 4          |
| 図書館図書購入     | 18,086 | 18,086 | 0      | 0%      | 4              | 4            | 4          |
| 図書館営繕       | 6,460  | 0      | 6,460  | 100%    | 4              | 4            | 3          |
| 教育振興(基金)    | 1      | 1      | 0      | 0%      | 4              | 4            | 4          |
| 合計          | 65,864 | 18,222 | 47,642 | 72%     | 4              | 4            | 3          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算    | R3決算   | R4予算    |
|---------|-------|---------|--------|---------|
|         |       | 100,695 | 65,864 | 123,714 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 18,959  | 0      | 0       |
|         | 地方債   | 12,900  | 0      | 43,700  |
|         | その他   | 142     | 18,222 | 113     |
|         | 一般財源  | 68,694  | 47,642 | 79,901  |
| 一般財源の割合 |       | 68%     | 72%    | 65%     |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 図書館法及び犬山市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき市が設置  |
| ②事業の必要性  | 4  | 図書館は住民の知る欲求に応えるために自治体が設置し運営するものであり、住民が情報を入手し、教育や文化の発展に寄与する場である。   |
| ③受益の公平性  | 4  | 図書館は乳幼児から高齢者まで住民すべてを対象とし、如何なる住民であっても資料提供の求めに応じるものである。   |
| ④ニーズの把握  | 4  | 図書館は何人でも利用できる施設であり、メール、窓口、図書リクエスト、図書館協議会など様々な方法で意見を受け取り図書館運営に反映させている。                                   |
| ⑤目標の達成度  | 4  | イベントやおすすめ本等の適切な配架による子ども読書空間の円滑な運用。学校連携司書の巡回、学校図書館司書との連携セミナーの開催。図書館システムの円滑な更新。図書館サポーターによる市民参加の図書館運営を行った。 |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 安全かつ安心して利用できるよう営繕を適切に実施する。子ども読書活動推進事業を積極的に実施し図書館利用の促進につなげる。従来のサービスを見直し利用者の利便性の向上を図り市民に愛される図書館を目指す。      |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で適正に図書館の運営を行った。図書館システムの更新、子ども読書空間の愛称決定、学校連携司書の学校図書室巡回、学校図書館司書との連携セミナーの開催、図書館サポーター制度の運用。視覚障害者が安全に施設に利用できるよう、点字ブロックの設置工事を実施した。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、適正な図書館運営を行う。図書館のICT化として、所蔵資料へのICTタグの貼付、セキュリティゲートを設置し利用者サービスの向上。外壁改修工事を実施し、安心・安全に利用できる施設の提供                                    |
| 今後見直しを検討する事項       | 図書館のICT化を進め、市民がいつでも気軽に情報を得られるよう図書館機能の充実を図る。市民が安心して施設が利用できるよう改修工事、修繕を実施する。  |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題   | 対応策・今後の方向性   |
|--|--|
| 施設及び設備の老朽化に伴う営繕<br>市民のニーズに応え、安心安全にサービスが提供できる施設の維持管理及び運営<br>子どもの読解力の向上及び読書活動の推進 | 計画的な営繕の実施。<br>図書館のICT化、計画的な施設の改修、市民のニーズにマッチしたサービスの提供、施設の運用していく。<br>子ども読書活動推進計画に基づき、子ども読書空間を活用し、子どもの読解力の向上及び読書活動の推進事業を展開していく。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名   | 決算書(P) |
|----|---|---|------|--------|
| 款  | 項 | 目 |      |        |
| 9  | 5 | 5 | 図書館費 | 350    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 楽田ふれあい図書館  |
| 事業目的     | 楽田ふれあい図書館の管理及び運営を適切に行い、読書の推進を図る。   |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週土曜日、日曜日の午前10時30分から午後5時00分まで開館し、図書館サービスを提供する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入による資料の充実</li> <li>・学校の授業に役立つ資料の選書（学校連携）</li> <li>・図書館の適正な運営</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入費 299,955円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | <p>新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で、適正に楽田ふれあい図書館の運営を行った。楽田小学校図書室と同じ空間で運用する特徴を活かし、学校と連携した企画や運用により子どもの利用者数の増加につとめた。</p> <p>地域に親しまれる施設となるようイベントを実施し、イベント参加者に施設の魅力を伝えることができた。</p>   |

II : 個別事業内訳

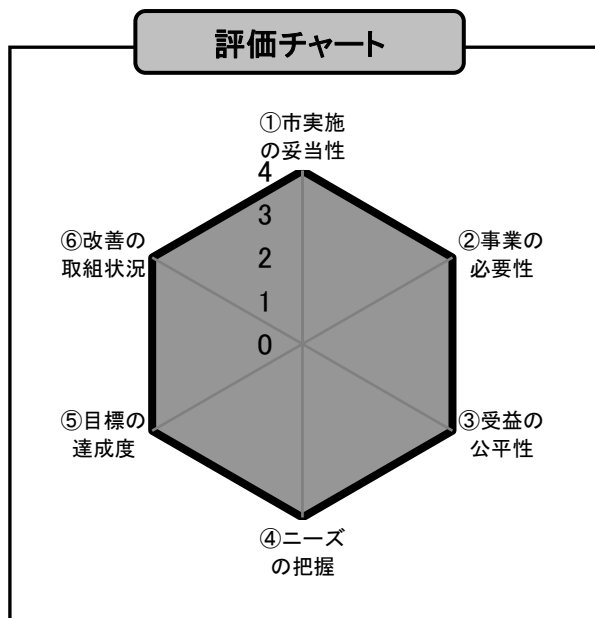
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名       | 決算額 | 財源内訳 |      | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|-----------|-----|------|------|---------|----------------|--------------|------------|
|           |     | 特定財源 | 一般財源 |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| ふれあい図書館管理 | 551 | 0    | 551  | 100%    | 4              | 4            | 4          |
| -         | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| -         | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| -         | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| -         | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| -         | -   | -    | -    | -       | -              | -            | -          |
| 合計        | 551 | 0    | 551  | 100%    | 4              | 4            | 4          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算 | R3決算 | R4予算 |
|---------|-------|------|------|------|
|         |       | 538  | 551  | 579  |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0    | 0    | 0    |
|         | 地方債   | 0    | 0    | 0    |
|         | その他   | 0    | 0    | 0    |
|         | 一般財源  | 538  | 551  | 579  |
| 一般財源の割合 |       | 100% | 100% | 100% |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 4  | 住民の知る欲求に答え、様々な図書資料を提供することは自治体としての責務である。   |
| ②事業の必要性  | 4  | 図書館は住民の知る欲求に応えるために自治体が運営するものであり、住民が情報を入手し、教育や文化の発展に資する場である。                     |
| ③受益の公平性  | 4  | 図書館は乳幼児から高齢者まで住民すべてを対象とし、如何なる住民であっても資料提供の求めに応じるものである。                           |
| ④ニーズの把握  | 4  | 図書館は何人でも利用できる施設であり、メール、投書、窓口、図書リクエスト、図書館協議会など様々な方法で意見を受け取り図書館運営に反映させた。          |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 楽田ふれあい図書館の運営を適切に行い読書の推進を図った。イベントを実施し、地域参加型の図書館として充実させた。楽田小学校と連携し子どもの利用数の増加に務めた。 |
| ⑥改善の取組状況 | 4  | 地域の図書館として気軽に利用ができるよう施設の運営に務めた。楽田小学校と連携し子どもの利用数の増加に務めた。                          |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 楽田ふれあい図書館の運営を適切に行い読書の推進を図った。イベントを実施し、地域参加型の図書館として充実させた。楽田小学校と連携し子どもの利用数の増加に務めた。                           |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 学校連携の拠点施設として図書館コーディネーターや学校司書と共に授業で使う資料の調達など学校に役立つ図書館づくりと、地域の図書館として地元住民が参加、参画できるイベントを実施し、地域に役立つ図書館づくりを目指す。 |
| 今後見直しを検討する事項       | 地域図書館としての魅力を伝え、地元住人の利用が増加すよう検討する。   |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                  | 対応策・今後の方向性   |
|---------------------|--|
| 施設の認知を高めるための情報発信の強化 | 地域図書館と学校図書館が同じ空間で運営する特徴を活かした図書館づくりを目指し、一人でも多くの市民に利用してもらえるよう、学校や地域との連携に努める。 |



令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名        | 決算書(P) |
|----|---|---|-----------|--------|
| 款  | 項 | 目 |           |        |
| 9  | 5 | 6 | 勤労青少年ホーム費 | 354    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 勤労青少年ホーム   |
| 事業目的     | 勤労青少年ホームを生涯学習の場として有効に活用することにより、市民の教養向上、健康増進を図る。  |
| 事業内容     | <p>●全体計画<br/>犬山市勤労青少年ホームの貸館業務及び維持管理を適正に行い、市民の自主的な生涯学習の場として有効に活用されるよう施設運営を行う。</p> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の貸館業務</li> <li>・施設の修繕</li> <li>・施設に必要な各種委託</li> <li>・施設の営繕工事</li> </ul> <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理業務委託料 7,196,055円</li> <li>・光熱水費 816,613円</li> <li>・修繕料 756,123円</li> <li>・工事請負費(屋上防水工事) 517,000円</li> <li>・工事請負費(空調取替工事) 1,133,000円</li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 自主的な生涯学習の場を市民に提供するために貸館業務を行った。<br>施設を良好な状態に保つためファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、修繕計画により、施設の適正な維持管理を行った。   |

II : 個別事業内訳

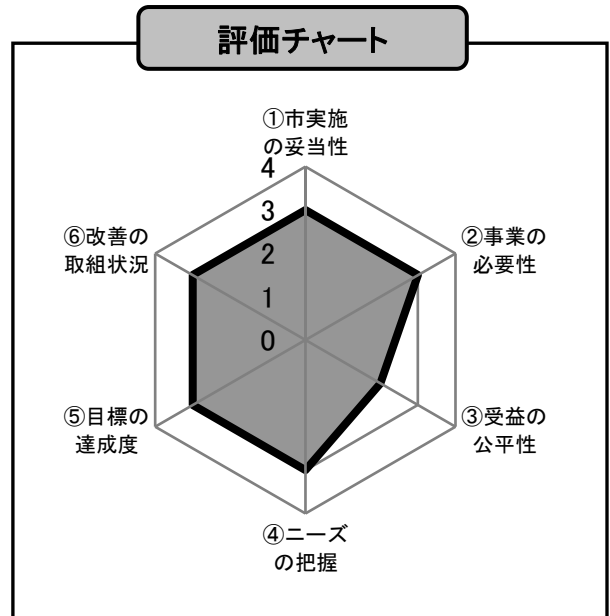
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名        | 決算額    | 財源内訳 |        | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|------------|--------|------|--------|---------|----------------|--------------|------------|
|            |        | 特定財源 | 一般財源   |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 勤労青少年ホーム管理 | 9,842  | 56   | 9,786  | 99%     | 4              | 3            | 3          |
| 勤労青少年ホーム営繕 | 1,650  | 0    | 1,650  | 100%    | 3              | 3            | 2          |
| -          | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -          | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -          | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -          | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| 合計         | 11,492 | 56   | 11,436 | 100%    | 3              | 3            | 2          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算   | R3決算   | R4予算   |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 11,043 | 11,492 | 12,312 |
| 財源内訳    | 国庫支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 56     | 56     | 61     |
|         | 一般財源  | 10,987 | 11,436 | 12,251 |
| 一般財源の割合 |       | 99%    | 100%   | 100%   |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 3  | 犬山市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例に基づき設置している。                                 |
| ②事業の必要性  | 3  | 市民の教養向上、健康増進等、市民の自主的な学びを支援するために提供している施設であるが、非常時においては縮小もやむを得ない事業である。 |
| ③受益の公平性  | 2  | 特定の団体の定期的な利用が多いが、無料施設のため、受益者の負担がない。                                 |
| ④ニーズの把握  | 3  | 施設には管理人を配置し、常時利用者の声を聴く体制を整えている。                                     |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 適切な貸館業務と計画的な修繕を実施した。  |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | ファシリティマネジメントの視点を取り入れながら、老朽化した施設のあり方を検証している。                         |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 既設防水層の保護塗膜が経年劣化したため、再度、保護塗膜の塗布工事を実施した。<br>3階会議室の空調が故障により機能停止したため、取替工事を行った。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 講習室の空調更新工事を行う。   |
| 今後見直しを検討する事項       | 利用者のニーズ踏まえた貸館業務の在り方と施設・設備の老朽化における優先順位の検討をしていく必要がある。                        |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題                  | 対応策・今後の方向性                     |
|---------------------|--------------------------------|
| 老朽化した施設の安全性の確保と維持管理 | 今後も優先順位をつけて施設の工事・修繕を適正に実施していく。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 5 | 7 | 市民文化会館費 | 356    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 市民文化会館運営管理   |
| 事業目的     | 市民が身近に利用できる芸術文化の拠点施設として市民の文化の向上を図る。  |
| 事業内容     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の舞台芸術鑑賞及び発表の場、文化活動の場として貸館業務を行った。</li> <li>・施設の維持管理を適正に行った。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会や音楽文化協会と協力し、「市民芸能祭」や「市民音楽祭」など市民参加型の事業を計画したが、コロナウイルスの影響により、中止とした。</li> <li>・市民が身近に施設を利用することを目的とした「舞台貸し事業」を実施し、39件の申し込みがあり、27件の利用があった。(12件はコロナの影響による休館等の理由でキャンセル)</li> <li>・施設を利活用するための保守及び修繕を実施した。</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 5,353,605円</li> <li>・施設管理業務委託料 2,155,721円</li> <li>・総合設備管理業務一括委託料 6,555,824円</li> <li>・舞台関係統合管理業務委託料 7,657,320円</li> <li>・備品購入費 1,540,000円</li> <li>・市民文化会館空調改修工事 14,410,000円</li> </ul> </li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | <p>大ホールの舞台のみを1時間1,400円で貸し出す「舞台貸し事業」を昨年度に引き続き試行的に実施した結果、27件の利用があり、175,330円の歳入を得ることができたとともに、コロナウイルスの影響で事業が減った施設を有効活用した。</p> <p>不具合の生じていた空調設備について、文化庁の補助金を活用し修繕を行ったことで、安定的な稼働が可能となった。</p>   |

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

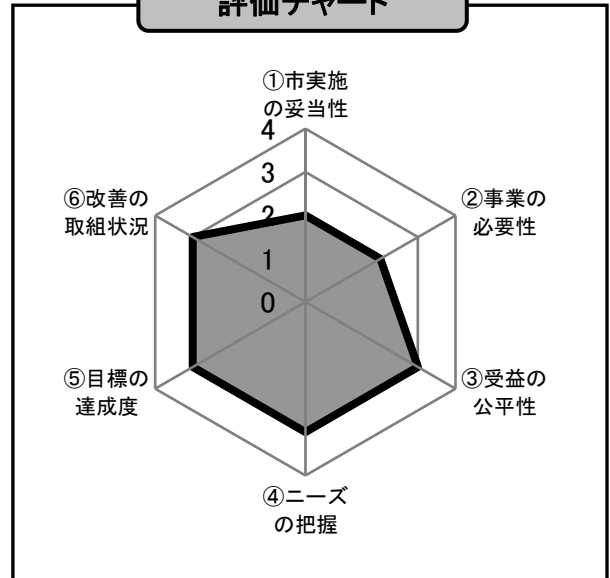
| 事業名       | 決算額    | 財源内訳   |        | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|-----------|--------|--------|--------|---------|----------------|--------------|------------|
|           |        | 特定財源   | 一般財源   |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 市民文化会館管理  | 26,847 | 8,322  | 18,525 | 69%     | 3              | 3            | 2          |
| 市民文化会館利活用 | 965    | 176    | 789    | 82%     | 3              | 3            | 3          |
| 市民文化会館管轄  | 14,647 | 7,652  | 6,995  | 48%     | 4              | 2            | 4          |
| -         | -      | -      | -      | -       | -              | -            | -          |
| -         | -      | -      | -      | -       | -              | -            | -          |
| -         | -      | -      | -      | -       | -              | -            | -          |
| -         | -      | -      | -      | -       | -              | -            | -          |
| 合計        | 42,459 | 16,150 | 26,309 | 62%     | 3              | 2            | 3          |

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算   | R3決算   | R4予算   |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 41,604 | 42,459 | 32,116 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0      | 7,652  | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 3,830  | 8,498  | 8,655  |
|         | 一般財源  | 37,774 | 26,309 | 23,461 |
| 一般財源の割合 |       | 91%    | 62%    | 73%    |

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 他市町で民間によるサービスの提供が行われている事例があるため、民間委託や指定管理者制度の活用可否について、検討の余地がある。 |
| ②事業の必要性  | 2  | 市民の日常生活に直接的な影響を及ぼす事業ではないため、状況によっては一時停止が可能な事業である。               |
| ③受益の公平性  | 3  | 少数の市民しか対象となっていない事業であるが、入場料や使用料など相応の負担を求めて実施している事業である。          |
| ④ニーズの把握  | 3  | 事業実施時に利用者アンケートを実施し、意見の集約を行っている。                                |
| ⑤目標の達成度  | 3  | コロナウイルスの影響により「市民芸能祭」や「市民音楽祭」などの事業を中止したが、舞台貸し事業を展開した。           |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 施設の長寿命化のため、文化庁の補助金を活用し、空調設備をはじめ、施設内の設備環境の整備を行った。               |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | ・コロナ禍においても舞台を活用することができるよう、配信設備を設置した。                                     |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | ・新たなニーズを掘り起こし、稼働率の向上を図るため、「舞台貸し事業」を本格稼働する。<br>・第5駐車場の売却に向け、測量及び不動産鑑定を行う。 |
| 今後見直しを検討する事項       | ・施設の収支バランスを検証し、今後の施設のあり方を引き続き検討していく。                                     |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題           | 対応策・今後の方向性                          |
|--------------|-------------------------------------|
| 施設のあり方検討を行う。 | ・専門家の意見を参考にしながら、今後の施設のあり方を引き続き検討する。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 6 | 1 | 保健体育総務費 | 368    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |  |
|----------|--|
| 施策事業名    | 保健体育総務事務   |
| 事業目的     | 市民の健康づくりを目的とし、スポーツ意識の高揚、スポーツの普及・振興を図る。   |
| 事業内容     | <p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ分野の市民の活躍や取組みを一層推進させるための事務事業を実施する。</li> <li>・スポーツ基本法に規定のスポーツ推進委員を中心に、市民に対するスポーツの推進のための事業やスポーツの指導及び助言を行う。同時に、各委員に対し、必要となる知識や技能を身につけるための研修会への参加等支援を行う。</li> <li>・市民のスポーツの普及のため、市民スポーツ活動を展開し、本市スポーツ振興の中核を担う市体育協会の事業関連経費に対し補助金の交付を行う。</li> </ul> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山市スポーツ賞授賞式の開催</li> <li>・全国大会等出場者激励費の支給</li> <li>・スポーツ推進委員事業の推進、協力</li> <li>・犬山市体育協会への支援</li> </ul> <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ賞記念品 136,138円</li> <li>・スポーツ競技全国大会等出場者賞賜金 360,000円</li> <li>・スポーツ推進委員報酬 1,155,000円</li> <li>・特定非営利活動法人犬山市体育協会補助金 12,805,660円</li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 生涯スポーツやニュースポーツなど誰もが気軽に参加できる軽スポーツ活動の実施や実施支援を通じて、市民に対するスポーツへの関心や機会、競技力の向上を推進をする事業計画をしていたが、新型コロナウイルスの影響により事業縮小して実施した。犬山市スポーツ賞の表彰式は、新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で実施したが、スポーツ推進委員の活動は縮小した。スポーツ団体補助(体育協会)は、各種目での大会の開催のほか、指導者の育成やジュニア世代の競技力向上、各種大会への選手派遣など、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら規模を縮小して開催した。また、近隣市町や市内各種組織との連携や、会員独自の人脈・ネットワーク・機動力・実行力を生かした事業展開は、補助金交付による効果が大きい。   |

II : 個別事業内訳

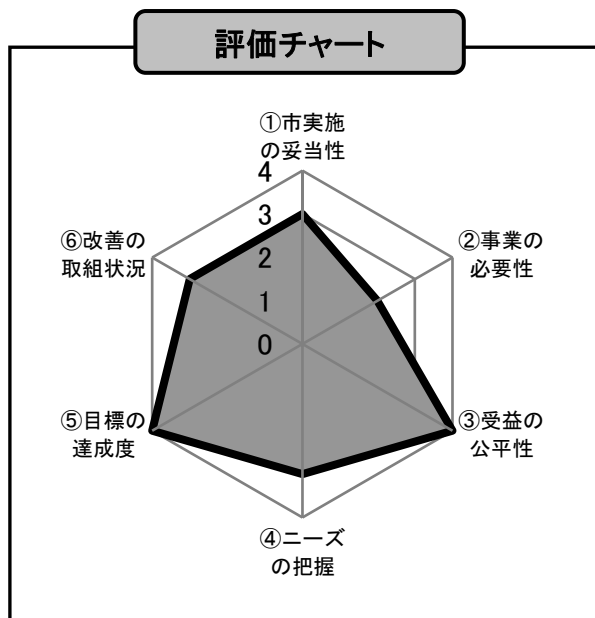
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名      | 決算額    | 財源内訳 |        | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|----------|--------|------|--------|---------|----------------|--------------|------------|
|          |        | 特定財源 | 一般財源   |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 保健体育総務事務 | 844    | 0    | 844    | 100%    | 4              | 3            | 3          |
| スポーツ推進委員 | 1,424  | 0    | 1,424  | 100%    | 4              | 4            | 4          |
| スポーツ団体補助 | 12,806 | 0    | 12,806 | 100%    | 4              | 4            | 4          |
| -        | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -      | -    | -      | -       | -              | -            | -          |
| 合計       | 15,074 | 0    | 15,074 | 100%    | 4              | 3            | 3          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算   | R3決算   | R4予算   |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 11,380 | 15,074 | 18,128 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 0      | 0      | 0      |
|         | 一般財源  | 11,380 | 15,074 | 18,128 |
| 一般財源の割合 |       | 100%   | 100%   | 100%   |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 3  | スポーツ推進委員はスポーツ基本法に規定され、スポーツ推進事業の実施などをその役割としている。また、表彰や補助金の交付をもってスポーツを行う市民を激励・顕彰することは、その採算面からも民間サービスにはそぐわない。 |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な施策であるが、日常生活よりも優先すべき分野ではない。  |
| ③受益の公平性  | 4  | 全ての事業の対象は市民全員である。   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 事業によっては参加者アンケートを実施している。   |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 計画事業は全て実施し、目標を達成した。   |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 受益者数(参加者数など)のほか、アンケートなどによるニーズ把握も順次取り入れていく必要がある。   |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | コロナ禍の中、全ての事業をただ中止として判断するのではなく、感染対策を講じて出来るかを判断した。スポーツ賞については、本来全国大会等に出場した者が表彰対象となるが、全国大会に出場していなくても、全国大会に出場予定だった者をスポーツ賞を受賞できるよう見直しを行った。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染対策を徹底して市民が参加できる事業の実施方法等を検討、実施する。   |
| 今後見直しを検討する事項       | 市内や近隣地域の類似している事業の実施状況を把握し、スポーツ事業のあり方やより適切かつ効率的な実施手法等について研究を進める。  |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性  |
|---|---|
| 公共サービスとして提供するスポーツ事業で収支バランスを図ることは困難であるため、収入の確保(参加料の設定など)や事業の圧縮などを視野に入れていく。 | 事業実施主体(体育協会・スポーツ表彰審査委員会・スポーツ推進委員連絡協議会)の主体性を最大限に尊重し、協力・支援を行い事業を展開すると同時に、指導・監督の視点を持ち、適宜協議を行いながら進めていく。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名      | 決算書(P) |
|----|---|---|---------|--------|
| 款  | 項 | 目 |         |        |
| 9  | 6 | 2 | スポーツ振興費 | 370    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|                                |  |                                |            |                               |            |                         |            |              |            |
|--------------------------------|--|--------------------------------|------------|-------------------------------|------------|-------------------------|------------|--------------|------------|
| 施策事業名                          | スポーツ振興   |                                |            |                               |            |                         |            |              |            |
| 事業目的                           | 市民の健康づくりを目的とし、スポーツ意識の高揚、スポーツの普及・振興を図る。   |                                |            |                               |            |                         |            |              |            |
| 事業内容                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画<br/>様々な場面で市民が「スポーツに親しむ」、「体を動かす」機会を提供する。</li> <li>●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民にスポーツに親しむ場所を提供するため、学校体育施設開放、市民プール代替事業（モンパプール利用の市民優待）の実施</li> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業の実施</li> <li>・いぬやまスポーツコミッション事業の推進</li> <li>・市民大会などの開催</li> <li>・スポーツの普及・振興のため、スポーツ振興基金の積立</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳 <table border="0"> <tr> <td>・学校体育施設管理業務委託料（10小学校・4中学校・1高校）</td> <td>1,727,799円</td> </tr> <tr> <td>・東京2020オリンピック聖火リレー愛知県実行委員会負担金</td> <td>4,844,420円</td> </tr> <tr> <td>・各種市民大会大会委託料（市民大会・愛知駅伝）</td> <td>2,779,569円</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ振興基金積立金</td> <td>3,608,000円</td> </tr> </table> </li> </ul> | ・学校体育施設管理業務委託料（10小学校・4中学校・1高校） | 1,727,799円 | ・東京2020オリンピック聖火リレー愛知県実行委員会負担金 | 4,844,420円 | ・各種市民大会大会委託料（市民大会・愛知駅伝） | 2,779,569円 | ・スポーツ振興基金積立金 | 3,608,000円 |
| ・学校体育施設管理業務委託料（10小学校・4中学校・1高校） | 1,727,799円   |                                |            |                               |            |                         |            |              |            |
| ・東京2020オリンピック聖火リレー愛知県実行委員会負担金  | 4,844,420円   |                                |            |                               |            |                         |            |              |            |
| ・各種市民大会大会委託料（市民大会・愛知駅伝）        | 2,779,569円   |                                |            |                               |            |                         |            |              |            |
| ・スポーツ振興基金積立金                   | 3,608,000円   |                                |            |                               |            |                         |            |              |            |
| 事業の成果・効果                       | <p>スポーツ振興では、年間を通し学校体育施設の市民開放を実施した。また、東京2020オリンピック聖火リレーでは、コロナ禍でも安心安全に大会運営できるよう県実行委員会や関係団体と調整の上、安全に実施した。スポーツ大会では、各種市民大会は、新型コロナウイルス感染対策を行いながら実施したが、愛知駅伝、いぬやまランニングフェスティバル、読売犬山ハーフマラソン、軽スポーツ大会、ふれあい運動会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。</p>  |                                |            |                               |            |                         |            |              |            |

II : 個別事業内訳

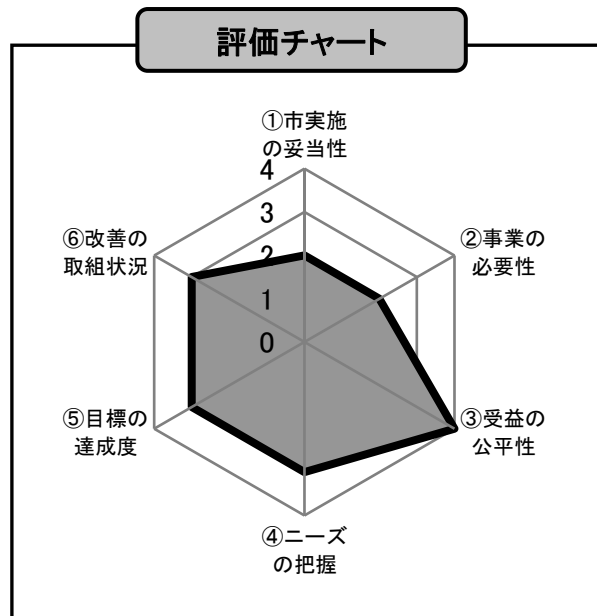
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名         | 決算額    | 財源内訳   |      | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|-------------|--------|--------|------|---------|----------------|--------------|------------|
|             |        | 特定財源   | 一般財源 |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| スポーツ振興      | 7,610  | 7,610  | 0    | 0%      | 4              | 4            | 4          |
| スポーツ大会      | 2,860  | 2,860  | 0    | 0%      | 4              | 2            | 4          |
| マラソン大会      | 22     | 22     | 0    | 0%      | 4              | 4            | 3          |
| スポーツ振興基金積立金 | 3,608  | 3,608  | 0    | 0%      | 2              | 2            | 2          |
| -           | -      | -      | -    | -       | -              | -            | -          |
| -           | -      | -      | -    | -       | -              | -            | -          |
| -           | -      | -      | -    | -       | -              | -            | -          |
| 合計          | 14,100 | 14,100 | 0    | 0%      | 3              | 3            | 3          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算   | R3決算   | R4予算   |
|---------|-------|--------|--------|--------|
|         |       | 16,063 | 14,100 | 20,355 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0      | 0      | 0      |
|         | 地方債   | 0      | 0      | 0      |
|         | その他   | 14,845 | 14,100 | 7,084  |
|         | 一般財源  | 1,218  | 0      | 13,271 |
| 一般財源の割合 |       | 8%     | 0%     | 65%    |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠  |
|----------|----|---|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 他自治体では、マラソン大会、各種スポーツ大会や事業など、民間が主体となって開催されている例は多い。   |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な施策であるが、日常生活よりも優先すべき分野ではない。  |
| ③受益の公平性  | 4  | いずれの事業も全ての市民が対象である。   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 事業によって参加者アンケートを実施し、ニーズの把握に努めている。  |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 聖火リレー実施、コミッション支援実施、いぬやまランニングフェスティバル、読売犬山ハーフマラソンは開催可能な方法を検討した上で、新型コロナウイルス感染拡大予防と市民の安心安全を最優先し中止とした。 |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 各事業への市民の参加申込方法(様式含む)の点検、見直しを実施中である。スポーツ振興基金の活用を検討が必要である。  |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 東京2020オリンピック聖火リレーは、新型コロナウイルスの影響で昨年度から延期となったが、安心安全に運営できるよう県実行委員会や関係団体と調整し実施した。また、いぬやまスポーツコミッションでは、犬山ならではの多様な自然や人脈などの地域資源を活かしたスポーツ事業を支援するため、総合型地域スポーツクラブへの支援を行った。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | ふれあい運動会については選択制で実施する方法とし、地域やコミュニティなどの意見を踏まえ、実施を希望する実行委員会とのみ委託契約する方式に変更する。いぬやまランニングフェスティバル、読売犬山ハーフマラソンは、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら実施を可否を検討する。                         |
| 今後見直しを検討する事項       | 開始から経過年数のあまり長くない事業(「いぬやまスポーツコミッション」・「いぬやまランニングフェスティバル」)について、今後複数年にわたる事業実施の効果を検証し、今の時代やニーズにあった組織体制や実施方法などの見直しを検討する。  |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性  |
|---|---|
| 公共サービスとして提供するスポーツ事業で収支バランスを図ることは困難であるため、収入の確保(参加料の設定など)や事業の圧縮などを視野に入れていく。 | 行政のほか、スポーツコミッションや体育協会など外部関係団体や市民がどのように各種事業に関係するかも含め、検討する。 |



令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名    | 決算書(P) |
|----|---|---|-------|--------|
| 款  | 項 | 目 |       |        |
| 9  | 6 | 3 | 体育施設費 | 372    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 体育施設管理  |
| 事業目的     | 体育施設を有効に活用することにより、市民スポーツ活動の振興を図る。   |
| 事業内容     | <p>●事業の全体計画<br/>公共スポーツ施設として武道館、弓道場、体育センター、フィットネスフロイデ、木曾川犬山緑地（野球場・テニスコート・多目的グラウンド）、山の田公園（野球場・テニスコート）、野外活動センター、内田多目的広場テニスコートをスポーツ活動・生きがづくり・健康づくりの場として提供する。</p> <p>●主な事業内容<br/>・施設の維持管理<br/>・施設利用者の利用手続及び指導<br/>・屋内及び屋外体育施設の営繕工事</p> <p>●主な決算の内訳<br/>・屋内体育施設管理委託料 5,110,479円<br/>・フィットネスフロイデ分修繕料 2,974,934円<br/>・トレーニングマシン借上料 3,531,306円<br/>・フィットネスフロイデ管理業務委託料 50,994,900円<br/>・屋外体育施設管理委託料 15,343,164円<br/>・木曾川犬山緑地維持管理業務委託料 12,540,000円<br/>・山の田公園維持管理業務委託料 4,180,000円<br/>・工事営繕費（武道館トイレ洋式化改修工事ほか） 6,234,250円</p> |
| 事業の成果・効果 | スポーツ活動、健康づくり、生きがづくりの場として、使用する上で安全かつ、より快適な環境を維持した市内体育施設を市民をはじめとする利用者に提供した。   |

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

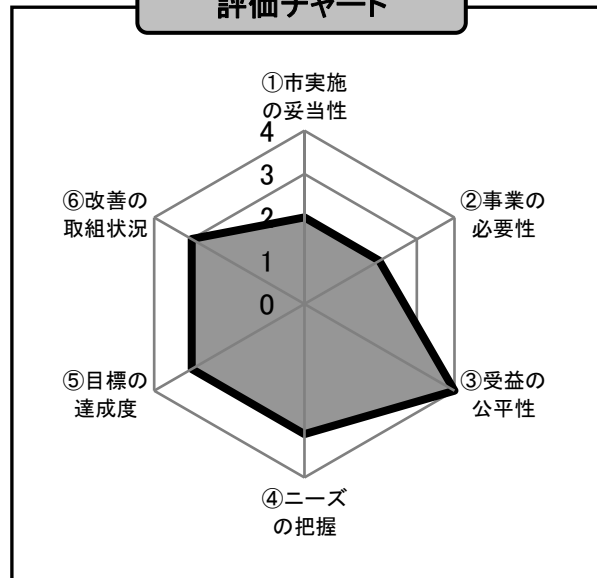
| 事業名          | 決算額     | 財源内訳   |        | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|--------------|---------|--------|--------|---------|----------------|--------------|------------|
|              |         | 特定財源   | 一般財源   |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 屋内体育施設管理     | 7,850   | 3,586  | 4,264  | 54%     | 3              | 4            | 2          |
| フィットネスフロイデ管理 | 61,245  | 35,755 | 25,490 | 42%     | 3              | 3            | 3          |
| 屋外体育施設管理     | 40,755  | 4,457  | 36,298 | 89%     | 3              | 4            | 2          |
| 体育施設営繕       | 6,234   | 0      | 6,234  | 100%    | 3              | 3            | 3          |
| -            | -       | -      | -      | -       | -              | -            | -          |
| -            | -       | -      | -      | -       | -              | -            | -          |
| -            | -       | -      | -      | -       | -              | -            | -          |
| 合計           | 116,084 | 43,798 | 72,286 | 62%     | 3              | 3            | 2          |

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算    | R3決算    | R4予算    |
|---------|-------|---------|---------|---------|
|         |       | 112,268 | 116,084 | 152,370 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0       | 0       | 0       |
|         | 地方債   | 0       | 0       | 0       |
|         | その他   | 39,791  | 43,798  | 70,994  |
|         | 一般財源  | 72,477  | 72,286  | 81,376  |
| 一般財源の割合 |       | 65%     | 62%     | 53%     |

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 体育施設管理業務を民間で実施する可能性はある。  |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な施策であるが、日常生活よりも優先すべき分野ではない。                                     |
| ③受益の公平性  | 4  | 全市民が対象となる(恩恵を受ける)機会を得ることができる事業である。   |
| ④ニーズの把握  | 3  | 施設には管理人を設置し、常時利用者の声を聞く体制を整えている。  |
| ⑤目標の達成度  | 3  | 体育施設を有効に活用することにより、市民スポーツ活動の振興を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症や自然災害の影響で100%の有効活用はできなかった。 |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 利用者の利便性向上のため、情報発信方法の改善(市ホームページ掲載情報の修正・コロナ対策の配信)や施設環境改善に向けた市民要望の実現に向けた工夫を実施した。  |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 新型コロナウイルス感染症対策について、社会情勢を反映したものへと随時更新した。             |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 老朽化している施設の修繕内容や利用方法などを、市民をはじめとする利用者に対して分かりやすく伝えていく。 |
| 今後見直しを検討する事項       | 施設の利用申請について、空き状況の確認や利用許可申請を施設予約システム上で完結できる方法を検討する。  |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題   | 対応策・今後の方向性   |
|--|--|
| 災害により施設が使用できなくなる事案が多くなってきており、復旧に多大な労力を要している。 | 自然災害に見舞われた際に各施設ごとの被害状況を正確に認識し、自然災害による被害を最小限に留める方法を検討、実施する。 |

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

| 予算 |   |   | 目名    | 決算書(P) |
|----|---|---|-------|--------|
| 款  | 項 | 目 |       |        |
| 9  | 6 | 3 | 体育施設費 | 372    |

| 部局名 | 教育部     |
|-----|---------|
| 課名  | 文化スポーツ課 |

I : 事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 施策事業名    | 包括体育施設管理  |
| 事業目的     | 羽黒中央公園（体育館・多目的スポーツ広場）を適正に管理運営し、活用することで、市民のスポーツ活動の振興を図る。   |
| 事業内容     | <p>●全体の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者による羽黒中央公園（体育館・多目的スポーツ広場など）の管理運営が適正に実施されることで、施設の活性化が図られ、市民のスポーツ活動、生きがづくり、健康づくりの推進を図る。</li> </ul> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者による適正な施設の管理運営</li> </ul> <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役務費（火災保険料・体育館分） 121,216円</li> <li>・ 委託料（指定管理料） 100,523,586円</li> </ul> |
| 事業の成果・効果 | 指定管理者の管理運営により、スポーツ活動、健康づくり、生きがづくりの場として施設を利用者へ提供した。また、幅広い年代の市民がスポーツに親しむ機会が得られるよう、チアダンス教室、スラックライン教室、トランポリン教室、フットサル教室、卓球教室、オンライントレーニングなど魅力的な自主事業を展開した。   |

II : 個別事業内訳

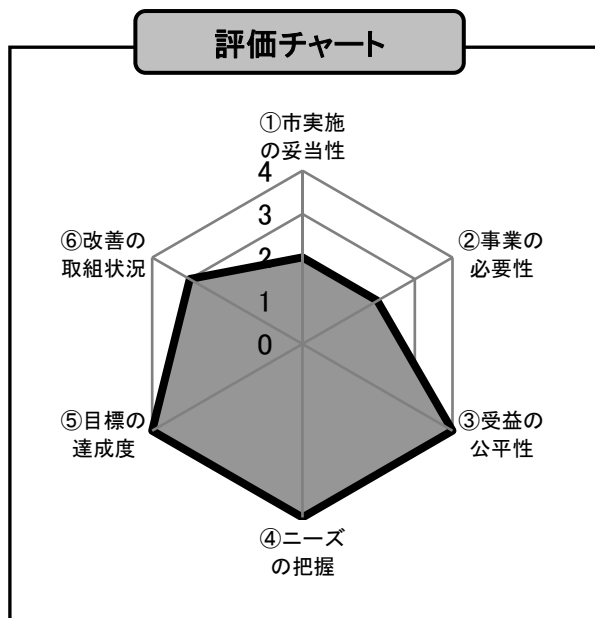
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

| 事業名      | 決算額     | 財源内訳  |        | 一般財源の割合 | 総見直し・総点検進捗評価   |              |            |
|----------|---------|-------|--------|---------|----------------|--------------|------------|
|          |         | 特定財源  | 一般財源   |         | 適時性確保<br>適応性向上 | 情報発信<br>・共有化 | 業務の<br>効率化 |
| 包括体育施設管理 | 100,645 | 2,426 | 98,219 | 98%     | 3              | 3            | 3          |
| -        | -       | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -       | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -       | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -       | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| -        | -       | -     | -      | -       | -              | -            | -          |
| 合計       | 100,645 | 2,426 | 98,219 | 98%     | 3              | 3            | 3          |

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

| 事業費     |       | R2決算    | R3決算    | R4予算    |
|---------|-------|---------|---------|---------|
|         |       | 107,044 | 100,645 | 102,554 |
| 財源内訳    | 国県支出金 | 0       | 0       | 0       |
|         | 地方債   | 0       | 0       | 0       |
|         | その他   | 2,365   | 2,426   | 2,427   |
|         | 一般財源  | 104,679 | 98,219  | 100,127 |
| 一般財源の割合 |       | 98%     | 98%     | 98%     |



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

| 評価の観点    | 評価 | 評価根拠   |
|----------|----|--|
| ①市実施の妥当性 | 2  | 体育施設管理業務は民間で実施する可能性がある。                        |
| ②事業の必要性  | 2  | 豊かな市民生活を送る上では有効な事業であるが、日常生活よりも優先すべき内容ではない。     |
| ③受益の公平性  | 4  | 全市民が対象となる（恩恵を受ける）機会を得ることができる事業である。             |
| ④ニーズの把握  | 4  | 指定管理者制度を導入し、常時利用者の声を聞く体制を整えている。                |
| ⑤目標の達成度  | 4  | 安定した施設管理を実現した。                                 |
| ⑥改善の取組状況 | 3  | 利用者の利便性向上のためラインによるアンケートの実施等、施設環境改善に向けた工夫を実施した。 |

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 令和3年度に見直しを実施した事項   | 指定管理者が実施する自主事業を指定管理料から除外した。建築年数の経過によるメンテナンス費の増加想定から、年間修繕費基準額を増額した。指定管理料について、新型コロナウイルスにより施設閉館時の精算協議を実施した。 |
| 令和4年度に見直しを実施している事項 | 新型コロナウイルスの影響による精算や、実施可能な自主事業について検討する。  |
| 今後見直しを検討する事項       | 恒久的に施設管理に要する一定の管理費と、今後施設の老朽化が進む中での維持費を確保する方法を検討する。   |

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

| 課題  | 対応策・今後の方向性  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な施設の運営方法の検討</li> <li>建築年数の経過によるメンテナンス費用の増加</li> <li>新型コロナウイルスによる施設閉館時の精算協議</li> </ul> | 恒久的に施設管理に要する一定の管理費と、今後施設の老朽化が進む中での維持費を確保する方法を検討する。新型コロナウイルスによる施設閉館時の精算協議については、基本協定に基づき実施する。 |